

## 経営評価制度の課題について

### ■ 成果測定指標ごとに設定するウエイトの配点について

- 現在の経営評価制度では、法人の経営上の重点事項を戦略目標（成果測定指標）として設定し、当該年度の各目標の法人経営上の重点度合いが分かるようウエイトを設けている。
- また 26 年度の目標設定からは、各目標の当該年度における法人の課題と重点目標を明確にするため、最重点目標を一つ設定し、他の戦略目標（成果測定指標）を上回る 30～50 点を配点することとしたところ。
- 30 年度の経営目標設定の際、委員から「ウエイトは目標達成の困難さによって考えるべき。目標値を下げて、目標達成が容易になればウエイトを下げるべきではないか。」と意見をいただいた。
- ウエイトの配点の考え方について、目標達成の難易度も考慮すべきか検討を行う。

（参 考） ■ 30年度目標設定  
【（公財）大阪府都市整備推進センター】

戦略目標	成果測定指標	単位	ウエイト (H29)	H28 実績	H29 目標	H30 目標	ウエイト (H30)	中期経営計画 (H29～H33)		H30目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、 その理由も記載
					実績(見込)			H30 目標	最終年度 目標	
② 点検業務の一括発注による橋梁点検の確実な実施	橋梁点検数	橋	25	(460)	935	↓833	25	935	560	平成29年度において、市町村から後年度に計画していた橋梁の前倒し点検を要請され目標以上の橋梁を点検した実施した。 また、平成30年度が法定点検最終年度にあたり、市町村においてセンターに点検を依頼する橋梁数の精査が行われた。 これらのことから、平成30年度の目標を市町村から要請のあった833橋とした。
					1,534					